

Where there's a will, there's a way

～ 意思ある所に道はひらける ～

令和5年度 八日市高等学校
第3学年 学年通信 No.9
(2023. 10. 25)
発行責任者：元持重子

◎充実の秋が来ました。いよいよ本番間近です。

朝夕の気温が肌寒く感じられるようになりました。寒暖の変化について行けず、体調を崩す人も出てきているようです。心身の状態を整え、睡眠時間も確保し、朝のSHRには全員が揃って、規則正しい学校生活が送れるようにしましょう。

◎2回のマーク模試を本番並みの緊張感で受験しよう。

共通テストまで2ヶ月余りとなりました。この時期に受験する11月のマーク模試は、本番想定です。本番までの学習でどこに重点を置くのか、学習の配分をどうするのかなど、効果的な学習計画を立て実行するのに役立つ大切な経験となります。また、自己採点を正確に行う練習もしなければなりません。準備から受験、採点までの一連の行動を、本番と同じような緊張感の中で取り組んでください。

◎「焦り」は「森」を抜けた証拠

高山には森林限界というものがあり、ある高さを超えると高木が生えず、一気に視界が開け、遠くの景色まで眺めることのできるポイントがあるそうです。黙々と登っていると、ある時、急に開けて山頂が見えてくるわけです。すると、「まだまだ距離がある」ということを思い知らされる。受験も同じではないでしょうか。今焦りを感じている人は、ようやく「森」を抜けて山頂が見えた人です。「あそこまで行かないといけない、時間がない。」と焦るのです。しかし、視点を変えると…。「森」の中では、どこにいるのか、どこに向かっているのか、迷うことも多かったはず。疲れれば休み、飽きたら別のことをして、歩みを止めることもあったのではないのでしょうか。まずは、「森」を抜ける位置まで登ってきたんだ！と肯定的にとらえてみてください。「焦り」は周りがよく見えるようになったからこそその感覚なのですから。

視界が開けると、やれていないことがたくさん見えて、焦ります。しかし、100点満点でないと合格できない大学などどこにもありません。65～70%あれば合格できる大学が大半です。大学の合格は、合格最低点を超えればいいのです。ですから、いたずらに焦るのではなく、ペースを崩さないですむ最大の速度で、自分の学習の穴を一つ一つ埋めていく努力を重ねていけばよいのです。埋めていない穴の数を数えて焦るより、ここまで埋めてきた穴を見て、自分の積み上げてきたものに自信を持ってください。ゴールはすぐそこまできていますよ。

◎ 行事予定 ◎

1	水		17	金	「滋賀教育の日」公開授業 SC
2	木		18	土	PTA卒業生と語る会(八日市ロイヤル) 全統プレ共通テスト
3	金	《文化の日》ベネッセ駿台共通テスト模試	19	日	全統プレ共通テスト
4	土		20	月	考査時間割発表
5	日		21	火	⑦避難訓練
6	月		22	水	SC
7	火	⑦総合	23	木	《勤労感謝の日》
8	水		24	金	
9	木		25	土	
10	金	SC	26	日	
11	土	第2回体験入学	27	月	(~12/1)
12	日		28	火	
13	月		29	水	
14	火	⑦総合	30	木	
15	水		※12月4日(月)～15日(金)：三者面談 進路に関する面談です。本日、案内を配布いたしました。 ご予約をお願いいたします。		
16	木				

